

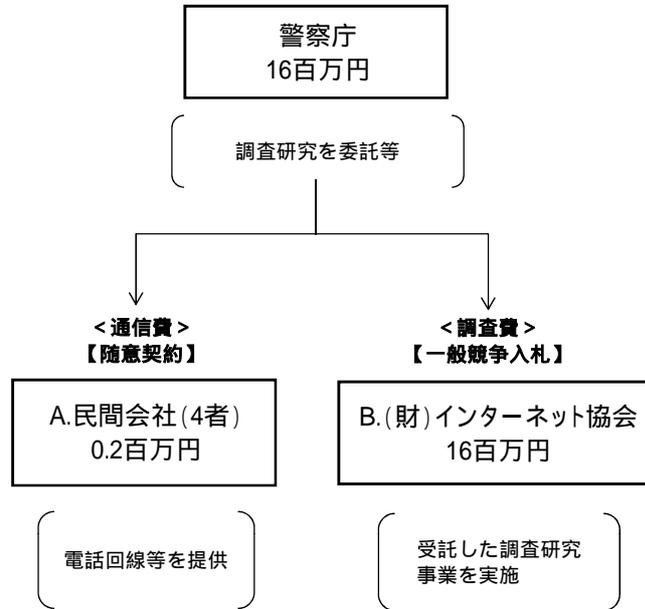
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	児童ポルノ対策・少年非行防止対策の推進		担当部局	生活安全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	少年課		少年課長 千野 啓太郎		
会計区分	一般会計		施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律第2条3項、第7条、第14条1項・2項、第15条		関係する計画、通知等	児童ポルノ排除総合策 児童ポルノの根絶に向けた重点プログラム				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	過去最多の検挙件数を更新するなど、深刻さを増す児童ポルノ事犯に対する取締りを強化し、児童ポルノの流通防止や被害少年の発見保護に努めるなど、児童ポルノ事犯の排除に向けた取組を一層強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	官民連携した児童ポルノの流通防止対策を図るため、ウェブサイトに掲載された児童ポルノに係る情報をリスト化し、流通防止対策を実施する通信事業者等に提供する業務を行う民間団体が設置されるための環境整備として、警察が捜査等によって把握した情報を提供するに当たっての適切な情報管理等の担保を目的とした業務実施マニュアル等を整備するための調査研究を実施するほか、氾濫する児童ポルノによる児童の被害を抑止し被害の拡大を防止する等の取締り、流通防止対策及び被害児童支援を推進する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	-	0	27	8	37	
		補正予算	-	91	0	0		
		繰越し等	-	0	0	0		
	計	-	91	27	8	37		
	執行額	-	89	16				
執行率(%)	-	98%	59%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 官民連携した児童ポルノの流通防止 (参考指標) 児童買春、児童ポルノ事犯等の少年の福祉を害する犯罪の検挙件数		成果実績	件	-	2,030	2,296	-
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	業務実施マニュアルの作成		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	1	-
					-	-	(1)	(1)
単位当たりコスト	16,083千円/年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	1	児童ポルノ事犯の取締り強化に必要な備品の整備による増				
	備品費	1	28					
	消耗品費	0	1					
	印刷製本費	5	1					
	通信費	1	1					
	雑役務費	0	4					
	借料	0	1					
計	8	37						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本事業は、インターネット上での児童ポルノの流通を防止するため、民間団体等と連携した流通防止対策を実施する上で参考となる業務実施マニュアル等を整備するための調査研究等であり、今後の我が国における児童ポルノ流通防止に資するものであったと認められる。 契約については、一般競争入札を行うなど、今後も競争性の高い調達の実施に努める。</p>		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p>		
	<p>2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p>		
	<p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.民間会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.(財)インターネット協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	調査研究	16			
計		16	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)インターネット協会	官民連携した児童ポルノ流通防止対策に係る調査研究	16	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

児童ポルノの根絶に向けた重点プログラムの概要

児童ポルノをめぐる情勢

氾濫する児童ポルノ

インターネット上の児童ポルノの氾濫による、被害児童の苦痛の継続
児童ポルノ事件の増加

犯罪に強い社会の実現のための
行動計画2008

国民からの取締りの要望

児童ポルノに反対する国際文書の
相次ぐ採択

児童ポルノの根絶に向けた重点プログラム (平成21年6月)

取締り

警察庁における画像分析班の設置等による情報分析機能の強化

職員の外国捜査機関の研修への参加等を通じた新たな捜査手法等の導入の検討

外国捜査機関等との連携の強化

共(合)同捜査の推進

捜査態勢の強化

サイバーパトロールや買受け捜査の強化

児童ポルノ愛好者グループの徹底検挙等

流通防止対策

児童ポルノ流通防止協議会での児童ポルノ掲載アドレスリスト作成管理団体(仮称)の創設やブロッキングの実施に向けた検討への協力

児童ポルノ掲載アドレスリスト作成管理団体(仮称)への情報提供

児童ポルノ掲載アドレスリストを活用した更なる流通防止対策の検討

流通防止に向けた広報啓発活動

インターネット・ホットラインセンターを通じた削除依頼の継続的实施

検挙時の削除依頼等の徹底

被害児童支援

被害児童の発見・保護活動の強化に向けた画像分析態勢の構築及び分析手法の検討

被害児童の心情に配慮した具体的聴取手法の検討

児童ポルノ事犯等の特性を踏まえた被害児童支援の在り方に関する検討

被害児童に対する継続的支援の実施

カウンセリング態勢の充実

遠隔地に居住する被害児童の支援

注: ...警察として新たに取り組む施策
...現在行っている施策を強化するもの